



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

キリバス共和国

— 2016年度 地域巡回機能回復等支援事業—
(終了時評価—2017年4月)

事業概要

国名	キリバス共和国
プロジェクト名	2016年度 FDAPIN VI プロジェクト
実施期間	2016年6月13日～2017年3月31日
相手国政府覚書署名省庁名及び実施機関	覚書署名省庁： 漁業海洋資源開発省 (MFMRD) 実施機関： 漁業海洋資源開発省水産局

プロジェクト実施の経緯と背景

キリバス共和国(以下「キリバス」という。)の国家漁業政策(Kiribati National Fisheries Policy 2013-2025)は、持続的漁業、養殖、海洋資源開発を通じた経済成長と雇用機会の創出並びにキリバス国民の食糧安全保障と生計の維持を目標として掲げている。キリバス政府はこれらを達成する過程において、特に社会的経済的分野で開発が遅れている離島地域の漁業開発振興を基本戦略にして漁業振興施策を実施している。

このような戦略の下、同国政府はブタリタリ漁業センター等の水産関連施設の運営・整備を行っているが、特に離島における水産関連施設は、故障や老朽化等あるいは運営管理の不備のため本来の機能を発揮することが出来ず、漁業開発振興上の隘路となっている。

このため、キリバス政府は、公益財団法人海外漁業協力財団(以下「財団」という。)に対



し、水産関連施設の修理・修復及び技術移転、並びに関連組織への指導・助言について支援要請を行った。

財団は、我が国とキリバスの漁業関係の重要性を踏まえ、本プロジェクトを実施した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	キリバスにおいて漁業の生産性が向上し、小規模漁業が発展する
プロジェクト目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブタリタリ、マラケイ、ベルー、タラワにおける水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上 2. ブタリタリ、マラケイ、ベルー、タラワにおける水産関連施設の管理・運営の改善及び活性化・自立化の促進
成 果	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブタリタリ漁業センター 漁業センターが整備されるとともに予備品が補充される。また、カウンターパートの技術力が向上し同センターの活動が活性化する。 2. マラケイ漁業センター 漁業センターが整備されるとともに予備品が補充される。また、カウンターパートの技術力が向上し同センターの活動が活性化する。 3. ベルー漁業センター 漁業センターが整備されるとともに予備品が補充される。また、カウンターパートの技術力が向上し同センターの活動が活性化する。 4. 水産局ハッチェリー 水産局ハッチェリーが整備されるとともに予備品が補充される。また、カウンターパートの技術力が向上し同センターの活動が活性化する。 5. 水産局漁業技術講習会への助言 各離島漁業者らの漁業技術、カウンターパートの指導能力が向上する。
活 動	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブタリタリ漁業センター 漁業センターの製氷機、発電機、船外機等の整備及び予備品の提供、カウンターパートに対する関連技術指導 2. マラケイ漁業センター 漁業センターの製氷機、発電機、船外機等の整備及び予備品の提供、カウンターパートに対する関連技術指導 3. ベルー漁業センター 漁業センターの製氷機、発電機、船外機等の整備及び予備品の提供、カウンターパートに対する関連技術指導 4. 水産局ハッチェリー 水産局ハッチェリーの海水ポンプ等の整備及び予備品の提供、カウンターパートに対する関連技術指導 5. 水産局漁業技術講習会への助言 漁具作成、魚燻製製造、船外機整備訓練の実施

投 入	<p>財団側</p> <p>・ 専門家：</p> <p>〔第1回巡回指導〕 チームリーダー 1名 漁船機関専門家 1名 冷凍機器技術者 1名</p> <p>計画：2016年8月中旬～9月中旬（約30日間） 実績：チームリーダー 1名 2016年9月5日～9月24日（20日） 漁船機関専門家 1名 2016年9月5日～9月26日（22日）</p> <p>〔第2回巡回指導〕 チームリーダー 1名 漁船機関専門家 1名 冷凍機器技術者 1名</p> <p>計画：2016年10月中旬～11月中旬 約30日間 実績：チームリーダー 1名 2016年11月21日～12月19日（29日） 漁船機関専門家 1名 2016年11月21日～12月18日（28日） 冷凍機器技術者 1名 2016年11月21日～12月16日（26日）</p> <p>〔第3回巡回指導〕 チームリーダー 1名 漁船機関専門家 1名 冷凍機器技術者 1名</p> <p>計画：2017年1月中旬～3月中旬 約50日間 実績：チームリーダー 1名 2017年1月12日～2月12日（32日） 漁船機関専門家 1名 2017年1月12日～2月5日（25日） 冷凍機器技術者 1名 2017年1月12日～2月10日（30日）</p> <p>延日数 計画：330人・日 実績：第1回42人・日、第2回83人・日、第3回87人・日 （合計212人・日）（計画対比：64%）</p> <p>・ 主な資機材： ディーゼル発電機（20KVA超防音型）1台、製氷機、 船外機の交換部品等</p> <p>・ 事業費： 予算額 22,498千円</p>
-----	--

	<p style="text-align: center;">実績額 23,141 千円（予算対比：102.8%）</p> <p>相手国側</p> <p>・主なカウンターパート：</p> <p>〔第1回巡回指導〕 漁業技術訓練支援</p> <p>Principal Fisheries Officer, MFMRD 1名</p> <p>Marine Mechanic, MFMRD 1名</p> <p>（2016年9月5日～6日 タラワ・タナエア地区）</p> <p>（2016年9月12日～15日 タラワ・ベシオ地区）</p> <p>Marine Mechanic, MFMRD 1名</p> <p>Senior Fisheries Assistant, MFMRD 1名</p> <p>（2016年9月18日～21日 アバイアン島）</p> <p>〔第2回巡回指導〕</p> <p>Principal Fisheries Officer, MFMRD 1名</p> <p>Marine Mechanic, MFMRD 1名</p> <p>（2016年11月23日～30日 ベルー島ブルー漁業センター）</p> <p>Marine Mechanic, MFMRD 1名</p> <p>Senior Fisheries Assistant, MFMRD 1名</p> <p>（2016年12月4日～9日 マラケイ島マラケイ漁業センター）</p> <p>Marine Mechanic, MFMRD 1名</p> <p>Senior Fisheries Assistant, MFMRD 1名</p> <p>（2016年12月13日～16日 アバイアン島）</p> <p>〔第3回巡回指導〕</p> <p>Marine Mechanic, MFMRD 1名</p> <p>Acting Senior Fisheries Assistant, MFMRD 1名</p> <p>（2017年1月15日～20日 ブタリタリ島ブタリタリ漁業センター）</p> <p>Marine Mechanic, MFMRD 1名</p> <p>（2017年1月23日～2月14日 タラワ、ベルー島、マラケイ島）</p> <p>・プロジェクト関連予算、土地、施設等：</p> <p>MFMRD、水産局、各離島漁業センターにおける電気・水道・電話（国内通話）の無償提供、MFMRDによる少額の現地購入資機材の購入予算の確保等</p>
--	--

評価事項

◆ 妥当性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、キリバス政府の国家開発戦略に基づく漁業振興政策に掲げる経済開発と雇用機会の創設を支援するための持続的漁業の開発並びに漁業を通じた国民の食糧安全保障と生計の維持に合致しており、妥当と判断される。

2. 協力ニーズ(対象国、対象地域)との整合性

キリバス国政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導助言を要請されており、事前調査においてブタリタリ漁業センター、マラケイ漁業センター、ペルー漁業センター、タラワ水産局ハッチェリーの修理・修復及び技術指導並びに MFMRD の漁業講習会に対する指導・助言に対する協力ニーズが高いことが確認されている。また、ペルー漁業センターでは発電機が修理・修復され製氷活動が再開されたが、同島住民約 1000 人が同センターに氷の供給を依存しており、機能回復に裨益する周辺住民は多く、協力ニーズとの整合性は高い。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

周辺の環境を汚染する恐れのある冷凍機、発電機、船舶機関等の廃油、冷媒等の廃棄は今回のプロジェクトでは発生しなかった。また、廃棄部品が発生した場合は環境に配慮し、分解等を行い、技術指導及び予備部品、廃品回収等で再利用できるよう保管する様に技術指導をした。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その運営・管理に対する助言を行うものである。今回の対象施設は製氷・冷蔵施設、発電機等であり、その機能回復を図るものである。製氷活動が再開されることで間接的に現地零細漁業者の漁業活動が活発になることが想定されるが、氷を用いる漁業者は底釣り、引き縄、魚突き漁業等の無動力カヌーを利用した零細漁業者が主であり、漁獲圧力は高くはなく水産資源に対する負荷を大きくする等の影響を与えるものではない。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

特になし。

◆ 効 率 性

1. 事業費及び実施期間

事業費は 2.8%増加したが、実施期間は計画に比べて短縮された。

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材及び専門家は、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

キリバス国内便の航空機不具合等によりスケジュールに乱れが生じ、現地での指導が不可能となる事態が発生したが、適宜実施計画を柔軟に見直したその結果、すべての修理・修復活動の完了が確認された。

5. その他(プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等)

島嶼国では、交通インフラ、特に国内航空便の脆弱性からスケジュールどおりの離島往来が不可能となる場合がある。このため、ある程度巡回日程に余裕を持つ必要があり、事業費の増加要因となっている。



【ブタリタリ島：船外機整備講習】

◆ 有効性

1. プロジェクト目標の達成度

1) プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：

- (1)ブタリタリ、マラケイ、ベルー、タラワにおける水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの基礎知識及び技術レベルは益々向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

- (2)ブタリタリ、マラケイ、ベルー、タラワにおける水産関連施設の管理・運営の改善及び活性化・自立化の促進

MFMRD の講習会への助言を行った結果、カウンターパートから地元漁業者・技

術者への技術移転が順調に行われ、漁労効率の改善、漁業者の活性化、自立化が促進され、プロジェクトの目標は達成された。

2) その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

(1) ブタリタリ漁業センターの整備及び技術指導

施設の修理・修復を行い、MFMRD のカウンターパート及びオペレーターに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、センターの活動が活性化するとともに施設の稼働が円滑になった。

(2) マラケイ漁業センターの整備及び技術指導

施設の修理・修復を行い、MFMRD のカウンターパート及びオペレーターに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、センターの活動が活性化するとともに施設の稼働が円滑になった。

(3) ベルー漁業センターの整備及び技術指導

施設の修理・修復を行い、MFMRD のカウンターパート及びオペレーターに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、センターの活動が活性化するとともに施設の稼働が円滑になった。

(4) 水産局ハッチェリーの整備及び技術指導

施設の修理・修復を行い、MFMRD のカウンターパート及びオペレーターに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、センターの活動が活性化するとともに施設の稼働が円滑になった。

(5) 水産局漁業技術講習会への助言

MFMRD の講習会において、MFMRD カウンターパートに対し漁具作成方法、船外機メンテナンスの方法等に関して指導したことにより、カウンターパートの技術指導の能力が向上した。



【アバイアン島：魚燻製製造の技術指導】

◆ インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程

度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷施設の修理・修復及び維持管理に関する MFMRD のカウンターパート及び各漁業センターのオペレーターの技術が向上した。今後、各漁業センターが順調に稼働すれば、上位目標である修理・修復対象地域の漁業生産の増加による小規模漁業の発展の達成に一定の効果を及ぼすとともに、キリバス政府が策定した国家計画に掲げる「経済開発と雇用機会の創設を支援するための持続的漁業の開発並びに漁業を通じた国民の食糧安全保障と生計の維持」の達成にも寄与する。



【タラワ島：漁具作成講習会後記念写真】

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

ペルー漁業センターでは本プロジェクトの実施により、製氷施設が稼働し、周辺漁民に氷が円滑に供給されるようになった。また、マラケイ漁業センター及びブタリタリ漁業センターでは SSB 無線機が修理・修復され、タラワ市場との連絡が可能となった。今後、施設が順調に稼働すれば、これまで中断していた鮮度の良い魚のタラワ市場への出荷が可能となり、漁民の所得が向上することから、対象地域の経済に対する直接的な効果が見込まれる。また、氷は地域住民にも供給されることから、民生向上に寄与し、対象地域の社会・経済に対する直接的な効果が見込まれる。

3. その他(ターゲットグループに対するインパクトやプロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等)

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは MFMRD の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設を担当する予定である。供与された資機材は、各漁業センターの稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設機能が強化され、継続的な活動を可能にする環境が整備された。また、キリバス政府はその国家開発戦略に基づき離島漁業センターの活用を推進しており、こうした漁業センターの継続的運営が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識し、センター運営に積極的に関与している。従って、本プロジェクト終了後もこの効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

以上